

# 木くばり

No. 132 発行 '14 - 10月号

株式会社 ナガイ内  
住まい教室 金谷教室

## 木と私たちの生活 転んだ時も衝撃を和らげる①

交通事故の死傷者の数はよく問題にされますが、家庭内のケガはそれほど話題に上りません。しかし、屋内事故件数は意外に多いです。その事故も、床や内装に木材を使うことによってある程度防ぐことができます。木が本来持っている性質、それに施工の仕方により、人間を優しく受け止めてくれるのです。

### 建物内での転倒・転落事故は多い 年間のケガ人は15万人あまりにも！！

そそかしい人でなくても普段の生活でテーブルに頭をぶついたり、階段でつまづくことはよくあります。小さなお子さんやお年寄りのいるお宅は特にこのような事故が日常起きやすいですね。

さて、私たちが歩いていて、無意識に衝突する早さは毎秒1.5~3メートルくらいと言われています。また、転倒した時の衝突の速さは毎秒約4~6メートルくらいだそうです。では、人が床に倒れたり、壁に衝突した際、衝撃力はどのくらいになるのでしょうか？

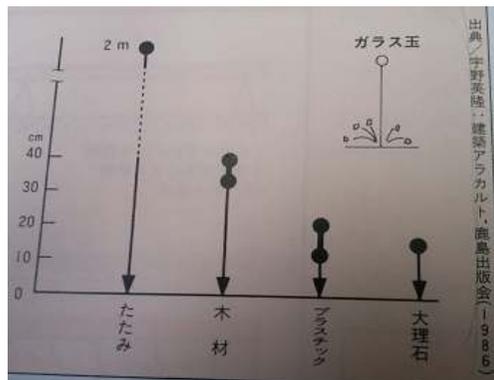
床の材料によっても違いますが、柔らかい発砲ウレタンをとっても、なんと200kgの力がかかります。つまり横綱クラスのお相撲さんが頭にのしかかったのと同じくらいになります。しかもこの力は瞬間的に加わってくるのです。発砲ウレタンでこれですから、タイルやコンクリートの床でしたら途方もない衝撃力になることは容易に想像できるでしょう。

ことに浴室やトイレでの転倒事故は危険です。

建物の中での日常災害による1年間の死者数は4092人に上ります。その原因を見るとやはり転倒や階段での転落が多くて、全体の36%あまり(1492人)を占めているのです。

転倒や転落事故を防ぐには、一つは床や階段の表面材料を滑りにくいものにする事です。適度な摩擦があれば、転びにくくなります。そしてもう一つは、床や壁の材料に衝撃を吸収するものを用いる事です。木材は両方の面を満たす素材です。

又、階段は段数を多くして、段差を少なくすると効果的です。



8月23日(土)に夏休み親子ふれあい木工教室を開催しました。

今年は6家族17名の方々が参加してくださいました。親子で力を合わせての力作、とても素敵な作品が出来上がりました。毎年参加された子も、初めて参加された子も目を輝かせながら真剣に作業していました。皆様ありがとうございました。



N公会堂  
地鎮祭を行いました。

N様邸  
2階造作中・外壁(塗壁)下地完了！

9月3日に地鎮祭を行いました。  
まもなく基礎工事が始まります。



O様邸  
ポストを設置  
しました。

トーマス機関車のお掃除に  
行ってきました。

小学生の職業体験の一環でトーマス列車のお掃除に当選し、行って来ました。毎日忙しいトーマスは真っ黒。みんなで一先懸命ゴシゴシ磨いてピカピカになりました。

